

地元川越ゆかりの指揮者、管弦楽、児童合唱で贈る

松山バレエ団

くるみ割り人形

スペシャルハイライト

台本・構成・演出・振付：清水哲太郎

クララ：熊野文香 王子：刑部星矢 音楽：P.I. チャイコフスキー 指揮：河合尚市（尚美学園大学教授）

管弦楽：尚友会管弦楽団（尚美学園大学音楽表現学科卒業生による） 児童合唱：川越少年少女合唱団

クリスマスの夜、人々の心に舞い降りる、
あたたかい愛の世界――



©イー・アイ 撮影：飯島直人

2016/12/25(日)

開場18:00 開演18:30

ウェスタ川越 大ホール

全席指定 S席7,000円(小学生以下5,000円)
A席5,500円(小学生以下3,500円)

10月21日(金)チケット発売

プレイガイド |

■ウェスタ川越1階総合案内 9:00~19:00(点検日等の休館日を除く) ■ウェスタ川越 オンライン チケットサービス <http://www.westa-kawago.jp> ※発売初日は12:00受付開始
■チケットぴあ <http://pia.jp/> TEL 0570-02-9999(Pコード454-691) ■イープラス <http://eplus.jp>

主催：株式会社コングレ 後援：川越市、川越市教育委員会、指定管理者NeCST(ネクスト)

※3歳未満のお子様はご入場いただけません。※やむを得ない事情により、出演者・内容等が変更になる場合がございます。公演中止の場合を除き、お買い求めいただきましたチケットのキャンセル、変更等はできません。

ストーリー

クリスマスの夜、シュタールバウム家でのクリスマスパーティーにドロッセルマイヤーおじさんが子供たちの前で取り出した、世にも醜いくるみ割り人形。子供たちは顔をしかめてしまいますが、主人公クララは一目でこのくるみ割り人形を好きになります。くるみ割り人形を胸に抱いて、客間のソファで眠りについたクララに、不気味なネズミの大群が襲いかかります。すると、ちっぽけなくるみ割り人形が、みるみる大きくなって、勇敢に立ち向かいます。危ないところでクララの助けを借り、ネズミの王様を倒します。すると、あんなに醜かったくるみ割り人形が、またたく間に、美しく立派な王子の姿に戻ります。そう、王子は呪いの魔法にかけられて、くるみ割り人形の醜い姿に変えられてしまっていたのです。

クララは王子にみちびかれ、雪の国、水の国、そして王子の治めるお菓子の国へと旅立ちます。行く先々で大歓迎を受ける二人。でも、夢の中のクララに残された時間は、あと、わずかです…。

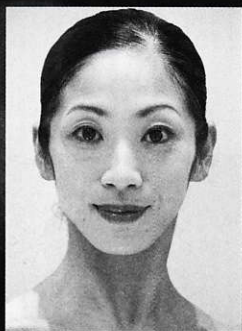


みどころ

今年、初演から35年目を迎える松山バレエ団の「くるみ割り人形」は少女クララが魔法で姿を変えられた醜いくるみ割り人形の中に秘められた魂の輝きに気づき、大切に愛することで人形の魔法を解き、元の王子の姿に戻し、王子との出会いと別れを通じて心の成長を遂げる物語です。クララの愛の美しさやひたむきさを繊細に表現し、華やかで楽しい舞台をつむぎ出します。19世紀ヨーロッパを舞台に、困窮した世相の中でも少しでも手を取り合おうとするシュタールバウム一家、そしてクララの一途に、一心に醜い人形を守り、慈しむ姿を描くことで、すがすがしい希望を皆様にお届けします。松山バレエ団では特に、2011年の東日本大震災以来、この作品を、戦乱の中で亡くなった人々に、もう一度会いたいとの強い祈りを込めて、心を寄せ合うやさやかなパーティーを開くさまを描いています。命いつくむ人々のあたたかい愛の心が輝く作品です。川越公演では尚美学園大学音楽表現学科卒業生による尚友会管弦楽団、川越少年少女合唱団の生演奏によるスペシャルバージョンでお届けします。

松山バレエ団・松山バレエ学校

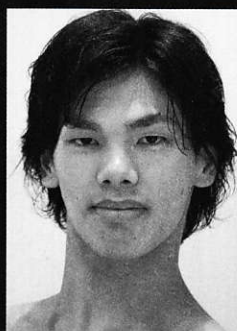
1948(昭和23)年に清水正夫(前・理事長)と松山樹子(現・名誉芸術監督)によって創立されて以来、半世紀の歴史を持つ日本を代表するバレエ団、バレエ学校。創立当初より『創造こそ命』の掛け声のもと後継の清水哲太郎・森下洋子が中心となって、積極的な活動を展開。ヨーロッパ公演、アメリカ公演、そして13回にわたる訪中公演など数多くの海外公演も果たし、今日に至る。現在、松山バレエ団は新「白鳥の湖」「眠れる森の美女」「ロミオとジュリエット」「シンデレラ」ほかドラマチックな全幕バレエのレパートリーを豊富に揃え、年間40あまりの公演を行ってバレエ芸術の普及・振興に邁進している。また松山バレエ学校は全国に支部を持ち、所属する生徒・研究生2000名あまり、精力的なバレエ教育で常に注目を集めている。



クララ 熊野文香

松山バレエ団 プリマバレリーナ

5歳よりバレエをはじめ。1997年松山バレエ団入団。2008年 新「白鳥の湖」全幕でイザベル女王、「くるみ割り人形」全幕で雪の女王、花のワルツプリンシパル、2009年新「白鳥の湖」パド・ユイットなど、ソリストとして経験を積む。2009年「くるみ割り人形」のクララ、2011年、新「白鳥の湖」のオデット、2016年、「ロミオとジュリエット」のジュリエットを演じるなど、主役をつとめる。常時身体中に仕込まれたクラシックバレエの粋を発散し続けようと、強靭な精神のもと世界バレエ界に新風を送る、スケールの大きなバレリーナである。



王子 刑部星矢

松山バレエ団 プリンシパル

1989年東京都町田市生まれ。6歳より 松山バレエ学校にてクラシックバレエをはじめ。清水哲太郎、森下洋子に師事する。18歳より 松山バレエ団に入団。新「白鳥の湖」「くるみ割り人形」をはじめすべての作品に出演。2011年、新「白毛女」で海外公演にも参加。「眠れる森の美女」のブルーバード、「くるみ割り人形」の「雪の王」、「ロミオとジュリエット」の「パリス」など、数多くのソリストをつとめ、24歳にて「くるみ割り人形」に初主演。翌年の「眠れる森の美女」全幕公演以来、新「白鳥の湖」「ロミオとジュリエット」で森下洋子のパートナーをつとめ、さらに新境地をひらく。ダイナミズムと繊細さを併せ持ち、純粋クラシックバレエの正義感溢れる躍動とロマンティズムに満ちた新鮮な踊り手である。

スタッフ

台本・構成・演出・振付/清水哲太郎 演出助手・振付助手・監修/森下洋子 バレエ・ミストレス/田中敏子・朶まゆみ・森田友子・錦木理沙
舞台監督/浅香亨 照明デザイン/古田毅志(同) パーフェクトブルー 衣裳デザイン/清水哲太郎・森田友子



多彩なふれあいによる
地域活力の創造拠点

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町1-17-17

お問合せ TEL. 049-249-3777

施設予約専用 TEL. 049-249-1182

9:00~19:00 (点検日等の休館日を除く)

- JR川越線・東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分
- 西武新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

「本川越駅」よりバスをご利用の場合

- 「本川越駅」西武バス乗り場 ①番
 - ・新所02、本55系統「川越駅西口」下車 徒歩約5分
 - ・本53、本54系統「ウエスト川越前」下車すぐ
- 「本川越駅」西武バス乗り場 ②番
 - ・川越35、川越35-1系統「ウエスト川越前」下車すぐ

- 駐車場は左折での入場となります。
- 利用料金：入庫後1時間無料 以後1時間ごとに200円。
- 駐車場は204台分ありますが、大変混雑が予想されるため、なるべく公共交通機関をご利用ください。

